



広島女学院同窓会 東京支部ニュース

編集・発行 東京支部役員会

2010. 2. 25
第 52 号

今年度の聖句

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。(コリントの信徒への手紙二 4章18節)

女学院ファミリー

— 絆とつながり —

理事長・院長 黒瀬真一郎

広島女学院同窓会東京支部の皆様、いつも母校を覚えての温かいご協力、ご支援をいただき心から感謝申し上げます。

昨年12月11日、出張で上京中、銀座教会で行われました「女学院同窓会東京支部クリスマス会」に出席させていただき、クリスマスメッセージと田中晶子さんの美しいバイオリンの演奏を拝聴し、同窓生の皆様とご一緒のよき機会に恵まれました。

今年の干支は「トラ」。私は年賀状で、「よみがえってほしい『寅さん』(山田洋次監督)の心」と書きました。思い返せば、私が広島女学院中・高校の教壇に立っていた1969年8月に、映画「寅さん」が銀幕に初登場、以来1995年まで26年間にわたって48作が上映され、実に約8,000万人の観客数は、ギネスブックにも登録されました。私も48作全作品を鑑賞しました。

あの頃、70年安保闘争が高まりを見せ始め、大学闘争が全国各地に広がり、広島においても広島大学を拠点として周辺の高校生にも運動の火の粉は散りました。本校においても、校門前でビラが配られ、集会・ビラ・立て看板の自由化や、定期テストの全廃など「8項目要求」を掲げての全校集会も開かれました。このような重苦しい暗い社会状況の中で偶然見たのが、「男はいよ」の第一作でした。

「男というもの辛いもの、顔で笑って・・・奮闘努力の甲斐もなく・・・」の主題歌や、「それを言っちゃーおしま

いよ」という歯切れのよい口上やタンカ、純情一途の恋に破れたあの瞬間の表情に、笑いとおペースが同時にこみ上げてきて深い感動の余韻に浸っていました。どんな時にも寅さんを待っていてくれる家庭と



家族があることに何かほのぼのとした安心感を覚え、それまでの憂鬱だった気持ちは吹き飛んで、映画の「くるま家」の人々と同じように、肩を寄せ合い信じあいながら生きること、家族の絆、地域の人々とのつながりや、助け合う社会の大切さを教えられたものでした。

今、政治、経済、社会において、日本がさまざまな局面で先行きの見えない不安材料を抱える中、「寅さん」の持つぬくもりや明るさを思い起こしたいと思います。山田洋次監督は「家族」「学校」「寅さんシリーズ」を通して、その時代、時代の日本の家族の絆や、苦しみや悩みと喜びについて描き続けてきました。この度、山田洋次監督10年ぶりの現代劇で、現代を生きる家族に寄り添いながら、その希望を描く「おとうと」が完成しました。

創立124年を迎えるにあたって、女学院ファミリーとしての絆とつながりが、ますます強固なものになりますようお願いしております。

2009年度 東京支部 会計報告

2009年1月1日～2009年12月31日

収入			支出		
費目	金額	摘要	費目	金額	摘要
前年度繰越金	374,233		支部ニュース費	499,127	印刷代、封筒代、送料他
支部会費	974,000	複数年度納入分を含む	支部活動費	200,960	クリスマス会 他
寄付金	13,000	2名	役員会費	99,280	会場費、交通費実費 他
受取利息	230		通信事務費	75,012	通信費、カード代 他
			夏雲の集い分担金	11,324	
			小計	885,703	
			次年度繰越金	475,760	
合計	1,361,463		合計	1,361,463	

監査報告

上記事項について監査した結果、相違ないことを認めます

2009年12月31日

会計監査

中丸秀子 

2010年度 東京支部役員

支部長・編集委員	坂下 恵 (杉田)	文英 1
副支部長・会計	鈴木 章子 (岩田)	高 19、文英 1
副支部長	瀧口 京子 (白井)	高 23、文英 5
書記	高井 浩子 (高橋)	高 14、大英 14
宗教委員	藤井 幸子 (財満)	高 14
役員	藤居阿紀子 (森)	高 25
〃	吉田 綾子 (藤原)	短大 7
〃	田中富美子 (松田)	文日 1
〃	西山 朋子 (佐々木)	高 22、文英 4
会計監査	中丸 秀子 (渡部)	高 11

東京支部は一月から新年度に切り替わりました。今年度も昨年度と同じメンバーで奉仕をさせていただきます。お手伝いいただける方、歓迎です。ご協力をよろしくお願い致します。



東京支部クリスマス会

2009年12月11日(金)午後2時から、今回も銀座教会をお借りして東京支部のクリスマス会を開くことができました。銀座教会でのクリスマス会は1998年からで、12回目になります。

礼拝は、銀座教会の草間美也子音楽主任の奏楽と東京支部の藤井幸子宗教委員の司会で始まり、銀座教会の長山信夫牧師から「満ち溢れる祝福」と題したお説教をいただきました。



第二部は恒例の草間先生のパイプオルガンコンサート。「アメイジング・グレース」など5曲を演奏していただきました。

そして第三部は、同窓生でN響団員の田中晶子さん(1990年中学卒)によるヴァイオリンコンサート。演奏会のスケジュールの間を縫って駆けつけて下さいました。バッハの無伴奏曲が礼拝堂に満ち溢れる中での至福のひとつときでした。



出張で上京されていた黒瀬院長にも思いがけずご参加いただき、学校の近況などをお聞きすることができました。

役員手作りのお菓子と同窓生から寄付されたクリスマスカードをお土産にお開きとしましたが、雨模様で、寒い日だったにもかかわらず、50名の参加者がありました。中には、初めて参加された方や、千葉支部、神奈川支部、遠くは神戸からご参加下さった方もあり、久しぶりにお子さん連れの方も見えました。



手作り菓子のお土産

Program

- 草間美也子 オルガン コンサート
- | | |
|---------|---------------|
| J.S.バッハ | いざ来ませ 世の救い主よ |
| D.ハスタッド | Amazing Grace |
| J.ブラームス | エサイの根より |
| J.S.バッハ | 起きよ 夜は明けぬ |
| L.スミス | 天には栄え み神にあれ |

- 田中晶子 ヴァイオリン コンサート
- | | |
|---------|----------------|
| J.S.バッハ | パルティータ 第2番 ニ短調 |
|---------|----------------|

当日の献金 31,000 円は婦人牧師のためのホーム「にじのいえ」にお送りしました。

「にじのいえ」には、36年間に28名の退職婦人牧師が入居されましたが、建物の老朽化と入居者減少により、青梅の隠退教職ホーム「信愛荘」と合併することになりました。

青梅で建て替え中の建物の完成後、本年初夏に「日本基督教団隠退教職ホーム にじのいえ信愛荘」として再出発します。合併後も運営は献金にて行われます。

同窓生に邂逅

白井京子(現・瀧口) 高23、文英5

■秋の終りに東京町田の旧白洲邸「武相荘」に仲間と出かけた。今は周りにかなり家が建っているが、白洲夫妻が住み始めたころは、本当に周りは竹やぶや畑だらけだっただろう。よくこんな不便なところに忙しい二人が住んでいたものだと思う。二人の愛用の品々や、センスのいい調度品に囲まれてしばしゆったりとした時の流れの中にいてコーヒーを飲んだりした。そこでぼったりと千葉の元支部長、国安さんに会った。絵のお仲間十人くらいと千葉から出掛けてきたとのこと。武相荘を後にして、駅までの間にある蕎麦屋で昼食をとっていたら、またまたそのお店でも再会した。お互い、安泰を喜び合う一日となった。

青柚子や珈琲喫す白洲邸 白井蕃薇

新蕎麦や同窓生に邂逅し //

■先日、大学で日本語教師をしている友人に頼まれて、外人学生に俳句を指導することになった。アメリカ本土、ハワイの日系五世、台湾の学生たち、かなり日本語も上達していて、俳句のことも大体わかっていたので、冬の季語をいくつか教えて、早速、二句作らせて、簡単に句会をすることになった。無記名で、短冊に句を書き、提出して、シヤツフルし、本来は、清記用紙に誰の字かわからないように手分けして書きなおすのだが、当日は全部で二十句くらいだったので、黒板に書きだして、その中から自分が好きな句を二句選ぶという方法にした。

息白し夜中の別れキスの色

しずむ太陽冬の期待を映す空

冬休みこたつ大好き気持ちいい

「息白し・・・」の句は台湾の男子学生の作。「冬休み・・・」の句はハワイの日系五世の作。日本に来て初めてこたつというものを知ったそうだ。

皆、俳句を作るのには苦勞していたが、選句後の、その句をなぜ選んだか、どこが好きかなどを述べて、これはきつと○○さんの句だなどと予想したりするのは、とても楽しかったらしく、指導した私も新鮮な喜びであった。

■向島百花園に吟行、小さいながらたくさんの花を見ることができた。園の中には何種類もの糸瓜がなっていた。

男衆や糸瓜へちまの下に酒酌めり 蕃薇

一月の句会では正月らしく歌留多取りをした。皆五十代以上なのに、白熱した。

歌留多取り読み手取り手も年取りて 水上黒介
(読み手とは私の事)

大人しき人が張り切る歌留多取 蕃薇

■最近、友人に誘われて、何度か「五行歌」の会に出席してみた。文字数も内容も何でもよい、とにかく、五行で詩を作るのだ。私の作った五行歌

南の国からやってきた
青い泡硝子の
ビールグラス
その泡のひと粒ひと粒に
南の空気を閉じ込めて

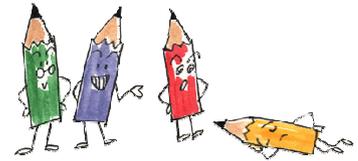
やはり俳句のように文字数は五七五、中に必ず季語を入れることなど決まりがある方が作り易いとの感を新たにしました。

皆様からの投句をお待ちしています。日ごろの何でもないことを五七五にしてみてください。

俳号 白井蕃薇しらいそうび

俳句結社「童子」同人、日本伝統俳句協会会員
テレビ東京「サブちゃん」と歌仲間」に出演中





私の活動—私の歩み—

森下 峯子 (増本/高 19、文英 1、大学院博士課程修了)
広島女学院大学 英米言語文化学科 非常勤講師



広島女学院大学文学部
英米文学科 1 回生の私は
卒業して JMS の貿易課で
英語とスペイン語を駆使
して北南米担当輸出業務
に携わった。エスペラント
部でエスペラントを学ん

だ私は米国オレゴン州ポートランドでの第 57 回
世界エスペラント大会に青年代表として人類愛善、
世界連邦や地球市民運動についてスピーチした。
卒論に関係したスタインバックの誕生地モンテ
レーに方言を聞きに行きもし、帰国。京都国際会
議場のブースを使用する YMCA 会議同時通訳 1 年
コースを修了、英検 1 級に合格する。

大下学園祇園高校と広島女学院高校の非常勤講
師、前者の専任となる。1979 年から 1981 年、米
国で家族が住む間、ウエスタン・ミシガン大学大
学院と転入先ノースイースタン・イリノイ大学大
学院で英語科・文学科を専攻する。滞在中はメソ
ジスト教会に所属し、二男誕生の時には牧師さん
から祝福された。長男は教会のナースリースクー
ルや現地の幼稚園、放課後は双葉会日本語学校・
補修校に通う。帰国後牛田山荘での牛田教会主催
夏季学級にも参加させていただく。

私は帰国後、高校及び付属の短大で英語を教え
る。1998 年広島女学院大学大学院(昼夜開講)文学
修士。2002 年同大学院言語文化研究科博士後期課
程単位取得し、研究、教育と現在に至る。

大学 4 年のとき韓国梨花女子大学が主催する
「世界平和のための女性リーダーの役割」という
テーマで東南アジアの学生が集まる国際セミナー
へ出席する際、日本の著名な女性リーダーとして
故広瀬ハマコ院長先生にインタビューをした。
また、台湾の女性教授の基調講演から「平和教育
は家庭から地域、社会、日本、世界へ」という教
訓を持って帰国する。

1986 年国連平和年に学生時代に続いて 2 回目
になる訪欧親善使節団に通訳として加わった。ヨ
ハネ・パウロ 2 世にバチカン市国で謁見したとき、
法王さまは広島から来たことを祝福してくださ
った。翌年は第一回比叡山宗教サミットがあり、広
島で 8 月 6 日早朝の慰霊行事や広島平和祈念式典
参列、広島歓迎会の通訳や翻訳をする。比叡山サ
ミットはその後も続いている。



2003 年 世界連邦市民講座第 60 回大会
「エスペラントと世界連邦」(広島)

戦争の世紀であった 20 世紀、冷戦後、21 世紀になっても国益重視から、各国の軍備が無くならない。2001 年 1 月中国新聞に出ていた故マクミラン先生も会員であられた、非戦をモットーとする日本友和会が募集する「メアリー・マクミラン記念召天 10 周年平和論文」に応募し入選する。「戦争はやめられる」というタイトルで一生懸命平和の定義を考える。

2002 年、大学生時代から英語の通訳や翻訳を通して世界連邦運動を理解し、第 59 回世界連邦市民講座「世界連邦の歴史と課題」と 2003 年、世界連邦市民講座第 60 回記念大会「エスペラントと世界連邦」の講師を広島原爆資料館会議室で務めた。

命がけで、2002 年広島市教育委員会の「広島長崎講座をインターネットで企画する」に応募した。講座の最後の章で、アメリカが世界警察のような振る舞いをしているので、個人を対象とする世界連邦政府・世界法ができたらいと述べる。秋葉市長がとても強く賛同された。翌年このコースが終了するやいなや私は世界連邦運動協会広島支部事務局長に推薦された。2005 年 8 月 2 日に被爆・戦後・国連創設 60 年国会決議がなされ、世界連邦実現への道の探究との文言が入った。秋には世界連邦日本大会が広島で開催され、大会事務局次長。広島市と広島平和文化センターと共催の世界連邦市民講座を企画し、支部ニュースを編集している。

ボランティア活動としては他に女子の少年院貴船原少女苑の教誨師として 6 年目に入る。行事参



2007 年 第 92 回世界エスペラント大会(横浜)
地球市民の会

加や集団講話を通じて苑生の情操教育に力を入れて非常に役立つと松田美智子前苑長から名誉ある感謝状をいただいた。苑では命の大切さをシリーズで説き、最近はお出前の平和教育を行っている。長崎の松添博氏と広島女学院大学第一号図書館の司書であった森木葉子さんの被爆証言が載る CD ブック『原爆の少女たち』(今石元久・森下峯子著編、溪水社、2008 年 1 月)を活用。苑生たちもよく集中して聴講する。

私は大学での授業英語コンプリヘンションで昨年は幼児教育心理学科、今年日本語日本文学科で課題としてこの CD を聞いてもらった。被爆者の肉声を聞くことにより原爆の実相をよく理解し、キリスト教をもっと知りたいという感想を寄せている。テキストの著者バラシュが『平和学入門—平和の意味』で核兵器の存在が何にもまして問題であることや、孔子も述べた、聖書からの黄金律のことを書いているが昨年ノーベル平和賞授賞式でのオバマ大統領の演説に盛られている。

大学では原爆講座や聖書研究が続けられ、宗教センターの課長やスタッフ、先生方によるアドベントを迎える準備をされ、クリスマス礼拝、大学公開講座と同様、高校では市民も参加する伝統の広島女学院「メサイヤ」が持たれる。Hallelujah! for the Lord God Omnipotent reigneth. と第二部のおわりには総立ちで合唱。いつしか覚えたのが自然に出てくる。

宗教音楽の故 秦知子先生からピアノを大学で習っていたとき、被爆者の実態調査をする委員会のメンバーにと声をかけてくださった。『広島女学院原爆被災実態調査報告書』としてまとめられているのを図書館で見つける。被爆者の声に耳をかたむけなければならない。

学生たちが女学院で各専攻分野をコアとして才能を活かして修練し、巣立っている。



東京支部の今年度の主な活動

- ・「東京支部ニュース」発行(2月、6月、11月)
- ・「夏雲の集い」(7月・関東ブロック主催、於 千葉)
- ・クリスマス会(12月)
- ・同期会の開催を推進(お手伝いしますのでご相談下さい。)
- ・同窓生の活動を同窓会のホームページに提供(情報をお寄せ下さい。)

関東ブロック主催 2010 夏雲の集い

～ 原爆死没者追悼礼拝 ～

2010年7月15日(木) 13:30～15:30

日本基督教団 佐倉教会

千葉県佐倉市新町 215 (京成佐倉駅 徒歩8分)

礼拝・説教：佐倉教会 黒田直人牧師

オルガン演奏：黒田尚子さん(高30)



佐倉教会



NHK交響楽団メンバーによる室内楽シリーズ

田中晶子さん出演 (1990年中学卒・バイオリニスト)

2010年4月23日(金) 19:00 開演

ヴィヴァルディ「四季」全曲演奏ほか

浜離宮朝日ホール(東京都中央区築地 5-3-2)

<http://www.asahi-hall.jp/hamarikyuu/event/2010/04/event334.html>

井野口慧子さん 著(吉岡/高14)

「深い永遠の中へ — 詩が生まれる場所」

発行：メディクス 2000円＋税
同窓生の歌「どんなに時が流れても」の
作詞の際のエピソードも。



被爆ピアノ

被爆後も現存するピアノ4台が
矢川光則さん(調律師)によって修復され、
平和の証としてコンサートで活躍しています。

1月末には自由学園明日館講堂(豊島区)や
第五福竜丸展示館(江東区)で演奏されました。
今夏にはニューヨークでのコンサートの企画も
あるそうです。

<http://www.peace-hiroshima.org/>

東京支部会費納入のお願い

東京支部の年度は1月から12月までです。

支部の活動は皆様からの会費で成り立っています。

同封の振替用紙で年会費(2,000円)の納入をお願いいたします。

支部ニュース51号でもお知らせしましたが、会費の自動振替は
条件が整わないため行っておりません。

封筒の宛名シールに「*」印が付いている方は、

今年度の会費を納入済みです。

手違いで振替用紙が入っていた場合は、ご容赦ください。

